

環境経営レポート

2023年度版



エコアクション21
認証番号0006442

対象期間：2023年4月～2024年3月



【広島】



【山陰】



【岡山】



【山口】



【東四国】



【四国】

発行日 2024年 7月22日

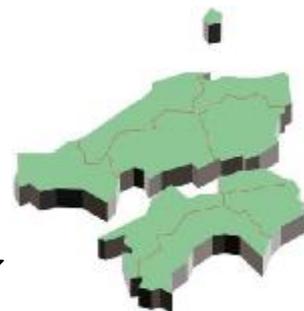


《中四国スバルグループ》

- 【統括会社】 広島スバル株式会社
- 【事業会社】 山陰スバル株式会社 岡山スバル自動車株式会社
- 山口スバル株式会社 東四国スバル株式会社
- 四国スバル株式会社

【1】組織の概要

中四国スバルグループ



1. 統括会社

- (1) 会社名 : **広島スバル株式会社**
(2) 所在地 : 〒733-0012 広島市西区中広町1-3-17
(3) 代表者氏名: 代表取締役社長 石川 篤
(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
事業会社責任者 常務取締役 小林 研一
環境管理責任者 中四国管理本部長 恵藤 百合人
環境管理事務局 総務統括部 CSR推進室長 一野坪 哲
環境管理事務局 総務統括部 CSR推進室 担当課長 岡下 大輔
環境管理事務局 総務統括部 CSR推進室 佐伯 恵一
連絡先 TEL 082-291-4355 / FAX 082-291-6555
- (5) 事業の内容 (事業会社5社も同様)
スバル車の販売並びに付随する関連業務
①新車販売 中古車販売
②車検・定期点検・一般修理
③自動車の部品・用品等の関連商品の販売
④自動車リース
⑤自動車保険代理業務等
- (6) 事業の規模 (中四国スバルグループ合計)
①年間売上高 35,915百万円 (2023年度※)
②新車販売台数 7,111台 (2023年度※)
③中古車販売台数 5,503台 (2023年度※)
④従業員数(派遣、パート含む) 911人 (2024年4月1日現在)
⑤関連事業所 別途【中四国スバルグループ店舗一覧表】参照
※事業年度 4月～3月

2. 事業会社 (5社)

1/5

- (1) 会社名 : **山陰スバル株式会社**
(2) 所在地 : 〒689-3546 鳥取県米子市熊党330-3
(3) 代表者氏名: 代表取締役社長 正木 洋一
(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
事業会社責任者 代表取締役社長 正木 洋一
環境管理者 営業支援部 担当部長 林原 秀行
担当者 営業支援部 総務課 外山 芳則
連絡先 TEL 0859-27-9030 / FAX 0859-39-3013

2/5

- (1) 会社名 : **岡山スバル自動車株式会社**
(2) 所在地 : 〒701-0144 岡山県岡山市北区久米333-1
(3) 代表者氏名: 代表取締役社長 和田 哲也
(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
事業会社責任者 代表取締役社長 和田 哲也
環境管理者 営業支援部 担当部長 綱嶋 博史
担当者 営業支援部 総務課 茂崎 秀典
連絡先 TEL 086-241-0811 / FAX 086-244-0368

3/5

- (1) 会社名 : **山口スバル株式会社**
(2) 所在地 : 〒753-0871 山口県山口市朝田1049-1
(3) 代表者氏名: 代表取締役社長 木村 真
(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
事業会社責任者 代表取締役社長 木村 真
環境管理者 営業支援部長 福居 英樹
担当者 営業支援部 総務課 主査 田中 秀明
連絡先 TEL 083-922-2022 / FAX 083-922-3115

4/5

- (1) 会社名 : **東四国スバル株式会社**
(2) 所在地 : 〒760-0080 香川県高松市木太町2683
(3) 代表者氏名: 代表取締役社長 清水 達夫
(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
事業会社責任者 代表取締役社長 清水 達夫
環境管理者 営業支援部長 漆原 章浩
担当者 営業支援部 総務課 清水 範幸
連絡先 TEL 087-861-1621 / FAX 087-861-1623

5/5

- (1) 会社名 : **四国スバル株式会社**
(2) 所在地 : 〒791-8036 愛媛県松山市高岡町463-1
(3) 代表者氏名: 代表取締役社長 清水 達夫
(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
事業会社責任者 代表取締役社長 清水 達夫
環境管理者 営業支援部長 猪野元 佳宏
担当者 営業支援部 総務課長 大北 智彦
連絡先 TEL 089-972-0191 / FAX 089-972-0158

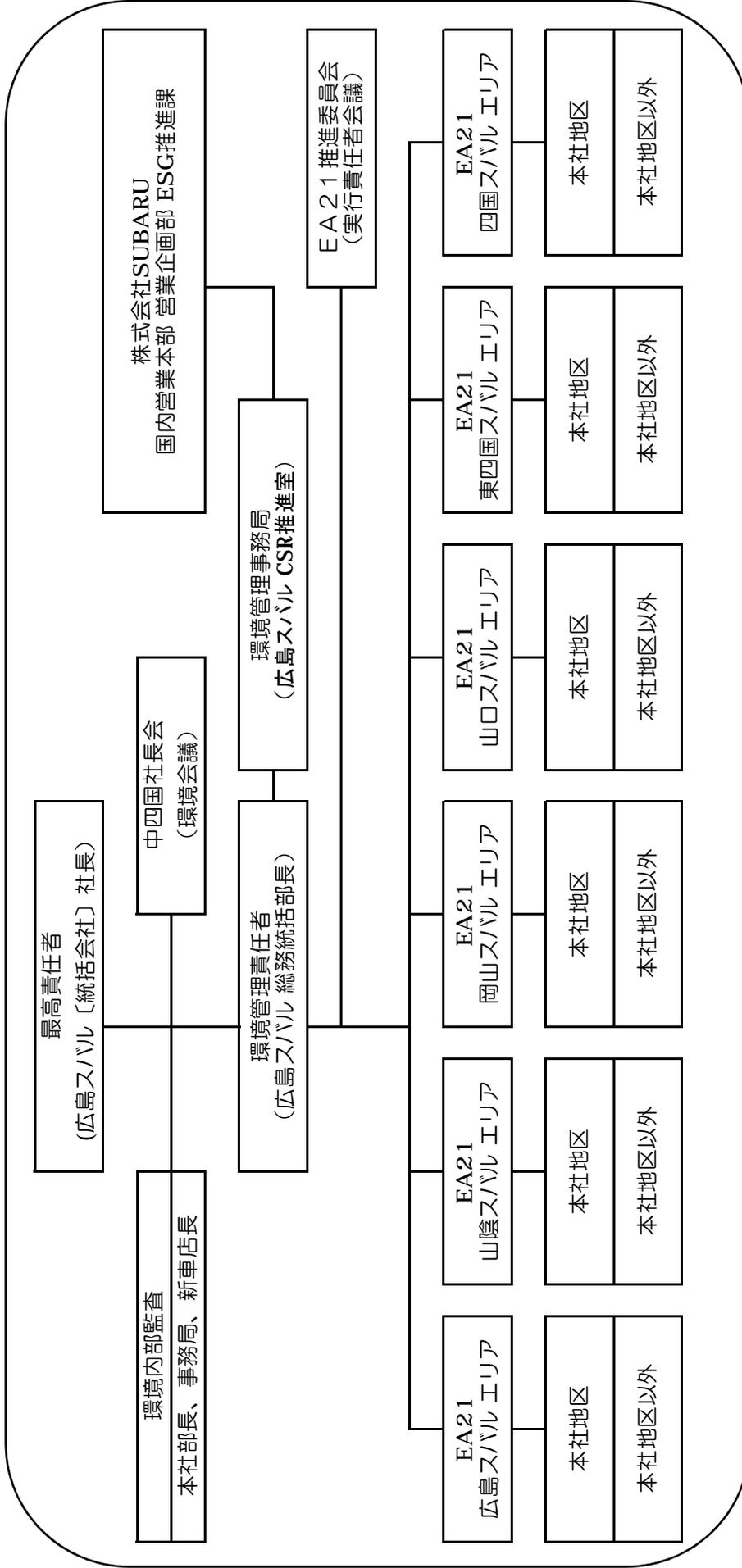
3. 対象範囲

全組織：【12】記載の組織すべて

全活動：新車及び中古自動車の販売・整備・修理・自動車部品の販売、
自動車保険業務、自動車リース業務に適用する。



【2】EA21推進組織図



【3】EMS推進責任権限表

担当者、会議体	役割、責任及び権限
広島スバル(統括会社)社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントシステム(EMS)執行の最高責任者 経営における課題とチャンスを整理し、明確化する 環境経営方針を定める。また必要に応じ見直す EMSの見直し(統括マネジメントレビュー)を行なう 要員(人材)、設備、資金等の資源を経営上対応可能な範囲で用意する 環境管理責任者を任命する
環境管理責任者 (広島スバル総務統括部長)	<ul style="list-style-type: none"> 本業の業務とは関わりなく、EMSを確立・実施・維持する責任と権限を有する 策定された全社環境経営目標(中期と当該年度)を承認する 「環境関連法規制等一覧表」を確認し、最新状態であることを承認する 環境経営マニュアル、手順書、帳票等の文書の最新版を維持管理する 緊急事態訓練結果記録の実施状況、見直しの必要性の確認及び承認 環境に関する行政機関対応の責任者(法規制対応も含む) 統括マネジメントレビューの報告情報を取り纏め報告する 教育訓練実施記録の実施状況確認及び承認 外部からの苦情対応の責任者
EA21推進事務局 (広島スバル総務統括部に置く) 事務局長:総務統括部総務課 「統括環境管理事務局と呼ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者を補佐し、EMSの確立・実施・維持全般に関する事務局業務を行なう 環境経営方針に沿って全社環境経営目標(中期と当該年度)を策定する 「環境関連法規制等一覧表」を作成し、最新状態を維持する 環境経営マニュアル・手順書・帳票等の見直し、最新版管理 緊急事態訓練の計画を策定し、店舗の実施を推進する 環境に係わる教育訓練計画を策定し、店舗の実施を推進する 各部門、各店舗との調整、情報の伝達 全社EMSの進捗管理、審査対応窓口(外部との調整を含む) 統括マネジメントレビューの情報収集・整理 株式会社SUBARUの環境推進部門との窓口
各社推進責任者	<ul style="list-style-type: none"> 各社の環境活動全体の責任者で各社社長が担当(統括会社においては常務が担当) EMSの見直し(マネジメントレビュー)を行なう
各社環境管理者	<ul style="list-style-type: none"> 各社の環境活動の実施責任者で各社サービス部門長、または営業支援部門長が担当(統括会社においては環境管理責任者が兼ねる) 必要な場合は、環境管理者の元に副管理者を置くことができる
各社推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> 各社の環境活動の実務担当者で各社サービス部門、または営業支援部門が担当(統括会社においては統括環境管理事務局が兼ねる) 環境管理者を補佐し、各社EMSの確立・実施・維持全般に関する事務局業務を行なう
部門長(担当する部長)・店舗推進責任者	<ul style="list-style-type: none"> 各部門(ブロック)、各店舗の環境活動の実質的実施責任者 環境経営計画を実施し、環境経営目標を達成することが最重要任務である 各部門長(担当する部長)、各店長が担当する
本社・店舗推進委員	<ul style="list-style-type: none"> 本社・店舗責任者を補佐し、実質的な活動の推進者 本社は事務局が担当、店舗は店長が指名した者 必要な場合は、部門・店舗推進委員の元に推進員を置くことができる
一般従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動の重要性を自覚し、必要な環境教育訓練を受け、環境経営方針・環境経営目標・環境経営実施計画書に基づいて、日常の環境活動に取り組む
統括マネジメントレビュー	<ul style="list-style-type: none"> 主催者:広島スバル社長 構成員:各社社長会参加メンバー 会議目的:EMSを規定した通り適切に運用しているか、有効に機能しているか、目標の達成状況、問題点の明確化と改善の方向を示す 開催頻度:統括社長会の場を利用して行なう。2回/年(5月、11月) 記録の有無:記録を残す(「マネジメントレビュー議事録」)
各社マネジメントレビュー	<ul style="list-style-type: none"> 主催者:各社推進責任者 構成員:各社部長会参加メンバー 会議目的:EMSを規定した通り適切に運用しているか、有効に機能しているか、目標の達成状況、問題点の明確化と改善の方向を示す 開催頻度:部長会の場を利用して行なう。2回/年(4月または5月、10月または11月) 記録の有無:記録を残す(「マネジメントレビュー議事録」)
環境会議	<ul style="list-style-type: none"> 主催者:広島スバル社長 構成員:各社推進責任者(各社社長) 会議目的:環境活動に関する重要な課題がある場合に、統括社長会の一部として議論する 開催頻度:1回/年程度(必要な場合のみ) 記録の有無:記録を残す
内部監査	<ul style="list-style-type: none"> 主催者:統括環境管理責任者(実施の指示) 監査頻度:監査の実施は2年間で全店舗を行なう 構成員:各社部長及び事務局、新車店長(必要に応じ環境管理者、統括環境管理事務局) 記録の有無:内部監査チェックリストにより記録を残す
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 主催者:環境管理責任者 構成員:環境管理責任者、各社環境管理者、統括環境管理事務局、各社推進事務局 会議の目的:環境活動の推進、情報伝達、意見交換等 開催頻度:随時(必要な場合のみ) 記録:記録を残す(統括環境管理事務局作成)

【4】環境経営方針

環境経営方針

《基本方針》

広島スバル株式会社及び中四国スバルグループ6社は、地域及び地球規模での環境保全の重要性を認識し、自動車及び部品の販売、整備、修理、保険業務などの事業活動に伴う環境影響をできるだけ少なくするために、環境経営システムを構築・運用し、グループ一丸となって積極的に環境保全活動に取り組みます。

《行動指針》

1. 適用される環境関連法規制や当グループが約束したことを守ります。
2. 環境経営目標を定めその達成に向けて活動すると共に定期的に見直し、環境パフォーマンスの継続的改善に努めます。又当グループが販売・提供するサービスの環境負荷の削減を行います。
3. 具体的には、以下の事項に取り組みます。
 - ① 課題とチャンスを踏まえ、健全な職場づくり・快適な店舗づくりに努める
 - ② 省エネルギーの推進（電力使用量・自動車燃料使用量を抑える）
 - ③ 省資源（水使用量・紙使用量を抑える「森林保護等目的」）
 - ④ 廃棄物総排出量の削減とリサイクルの推進
 - ⑤ 事業所周辺の清掃活動など、地域の環境改善への貢献
 - ⑥ 「グリーン購入」を積極的に推進
 - ⑦ エコカー販売、車両点検整備の促進
 - ⑧ **SDGs**の取組促進

この環境経営方針をグループ全従業員に周知し、教育活動を推進します。

制定日 2011 年11月18日

改定日 2022 年 4月 1日

中四国スバルグループ

統括責任者 **石川 篤**

【5】過去の環境負荷状況

環境への負荷の自己チェックの結果、2016年度～2021年度の主な環境負荷の状況は下記の通りです。

【中四国スバルグループ】

項目	単位	2016年度	2017年度 (変更前基準年度)	2017年度※1 (基準年度)	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
電気使用量	kWh	4,495,892	4,430,837	4,539,050	4,045,179	3,868,754	3,693,543	3,917,196	4,197,279	
燃料	ガソリン	L	665,229	662,817	671,105	643,598	594,524	474,683	438,252	315,439
	灯油	L	4,647	6,224	6,978	5,800	3,556	4,138	3,783	2,958
	軽油	L	140,612	138,264	138,736	138,016	128,475	97,472	89,538	80,037
	LPG	kg	12,737	12,552	12,639	10,192	7,280	6,405	5,869	4,756
	都市ガス	m ³	3,858	3,634	3,634	3,537	2,076	2,263	2,706	2,770
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4,475,610	4,430,513	4,513,409	4,162,088	3,907,434	3,449,467	3,467,080	3,307,757	
水使用量	m ³	42,782	40,989	41,101	39,238	38,272	33,240	31,647	28,599	
主な 化学物質 四国スバルのみ	トルエン	g/台	138.0	81.3	81.3	121.3	120.5	0	0	-
	酢酸ブチル	g/台	22.2	27.6	27.6	36.0	0.0	92	110	-
	キシレン	g/台	57.0	91.2	91.2	34.5	43.1	0	0	-
	板金入庫	台	1,026	963	963	975	914	882	477	-
グリーン購入	品目数	141	157	163	165	162	172	169	156	
環境対策車販売台数	台	-	-	-	-	-	-	-	-	
点検/バック 付保率	新車時付保	%	86.5	87.2	83.0	84.9	81.2	87.6	86.4	87.6
	車検時付保	%	40.1	47.8	50.0	53.9	57.9	63.0	66.2	70.8
セーフティチェック	台	47,146	43,229	43,729	45,602	47,815	49,454	50,328	49,888	
産業廃棄物最終処分量	t	157	183	183	261	261	254	268	265	
1億円あたり	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /億円	10,241	9,438	9,615	9,792	10,007	9,988	10,935	9,984
	水使用量	m ³ /億円	98	87	88	92	98	96	100	86
	産業廃棄物最終処分量	t/億円	0.36	0.39	0.39	0.61	0.67	0.74	0.85	0.80
売上高	億円	437.04	469.42	469.42	425.04	390.47	345.37	317.07	331.30	

【6】環境目標 2018～2022年度（基準年度：2017年度実績）、2023年度（基準年度：2022年度・2019年度実績）

【中四国スバルグループ】

項目	単位	2018年度	2019年度※2	2020年度※2	2021年度※2	2022年度※2	2023年度	
環境目標（削減率）		2017年度 (変更前基準年度)比 0.5%削減	2017年度 (基準年度)比 1%削減	2017年度 (基準年度)比 1.5%削減	2017年度 (基準年度)比 2%削減	2017年度 (基準年度)比 2.5%削減	電気：2022年度実績 燃料・水：2019年度 比0.5%削減	
電気使用量	kWh	4,408,683	4,493,660	4,470,964	4,448,269	4,425,574	4,197,279	
燃料	ガソリン	L	659,503	664,394	661,038	657,683	654,327	591,552
	灯油	L	6,193	6,908	6,873	6,838	6,803	3,538
	軽油	L	137,572	137,348	136,655	135,961	135,267	127,832
	LPG ※3	kg	12,489	12,512	8,882	8,837	8,791	7,244
	都市ガス	m ³	3,616	3,598	3,579	3,561	3,543	2,061
二酸化炭素排出量 ※3	kg-CO ₂	4,408,360	4,468,275	4,434,998	4,412,485	4,389,973	3,656,101	
水使用量	m ³	40,784	40,690	40,484	40,279	40,073	38,589	
主な 化学物質 四国スバルのみ	トルエン ※4	g/台	77.9	77.5	77.1	76.7	0.0	
	酢酸ブチル ※4	g/台	26.5	26.3	26.2	26.1	0.0	
	キシレン ※4	g/台	87.4	87.0	86.5	86.1	0.0	
グリーン購入	品目数	160	163	169	172	178	178	
点検/バック 付保率	新車時付保	%	83.0	83.1	84.8	88.8	89.8	89.8
	車検時付保	%	50.0	58.9	61.9	64.8	70.2	70.2
セーフティチェック	台	43,359	44,080	44,298	44,517	44,734	44,734	
産業廃棄物		現在の水準を 極力維持する	現在の水準を 極力維持する	現在の水準を 極力維持する	現在の水準を 極力維持する	現在の水準を 極力維持する	現在の水準を 極力維持する	
1億円あたり	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /億円	9,391	9,519	9,471	9,423	9,374	9,374
	水使用量	m ³ /億円	87	87	86	86	85	85

備考）・環境目標（削減率）は各事業会社は全店舗統一としています。

・購入電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力、四国電力の2009年度排出係数0.63と0.41の6社平均値から算出した0.557を使用しました。

※1 2017年1月の店舗追加（広島スバル 東広島店）に伴い、新店舗の2018年度実績を基準年度に加算しています。

※2 2017年度の店舗追加（広島スバル 東広島店）に伴い、基準年度の数値に変動があったため、2019年度以降の目標値を変更しました。

※3 2019年度の店舗閉鎖（山口スバル宇部西店、萩店）に伴い、LPGの使用がなくなったため目標を修正しました。

※4 四国スバルの板金工場閉鎖（2021年度12月）に伴い、中四国スバルグループで化学物質の排出がなくなったため目標は0としました。

【7】主要な環境経営計画の内容

環境負荷低減に資する製品への取り組み

①環境対策車の拡販、アイサイト車の拡販

- ・CA^{※1}の商談力向上（研修、WEBトレーニング等実施）、出張展示会の開催、体感試乗の実施

※1 CAはカーライフアドバイザーの略

②セーフティチェック実施台数の増加

- ・点検パックの加入促進、展示会を活用した入庫促進、TS^{※2}の技術力向上

③エコタイヤ販売比率向上

※2 TSはテクニカルスタッフの略

- ・最新商品の知識習得、点検、車検、タイヤ交換時の積極提案

④点検パック付保率増加

- ・新車販売時、車検入庫時の全数提案

数値目標に対する取り組み

①CO2排出量の削減

（電気使用量削減）

- ・照明の適正化、採光場所ごと（お客様、従業員で線引き）
- ・節電の取組み：スイッチ部に「節電」貼り紙、昼休憩時事務所消灯
- ・ショールームオープン時間短縮、夜間PC主電源OFFを行う
- ・冷暖房の室温管理（夏季：26℃以上、冬季：23℃以下）
- ・照明の適正化：昼間明るい場所は消灯、屋外看板含む
- ・ノー残業デーの活用による定時退社：仕事の効率アップ

（燃料使用量削減）

- ・無駄な走行の排除、走行ルートの見直し
- ・来店型店舗による引取、納車の極少化、効率化
- ・エコ運転の推進、エコドライブ5か条の推進
- ・代車の削減、効率的な使用（必要最小限の台数）、満タン返し依頼の徹底
- ・WEB会議やWEB商談を活用し移動の最小化

②水使用量の削減

- ・効率的な洗車の推進
- ・オフィスの節水活動推進（節水ラベル貼付）
- ・洗車時の配慮：洗剤使用の低減、節水ノズルの使用

③廃棄物排出量の削減、再資源化

- ・裏紙の使用、ペーパーレス化（WEB会議やiPadの活用）
- ・保管場所の適正管理、マニフェストの完全運用
- ・分別再資源化の強化（金属くずの売却推進）

④グリーン購入品目の増加

- ・エコ商品の積極購入推進

数値目標以外への取り組み（職場環境、業務効率改善、地域貢献等）

①SDGsの取組促進

中四国スバルグループSDGs取り組み3本の柱

- ・企業として支持される持続的な成長
- ・安全で楽しいクルマ社会の実現
- ・次世代に繋がる環境保全の活動

②本来業務の見直し、効率的営業活動

- ・健全な職場づくり・快適な店舗づくり
ワークライフバランスのための有給取得促進（年間5日以上）
パワハラ・セクハラ等を無くすコンプライアンスの取組
育休取得の促進
- ・朝、昼、終礼の実施（進捗確認）し営業時間内に業務を終わらせる
- ・ショールームの営業時間厳守、WEBトレーニングによる商談力向上
- ・スマートボードによる工程管理（無駄削減・時間短縮）
- ・Garoonによる、効率化、見える化、コミュニケーション向上
- ・入庫の平準化（早期予約管理）による効率化

③社会への環境活動の推進

- ・地域密着型店舗実現のため地域、社会への環境活動を進める
（地域清掃活動の実施店舗を増やす）

④内部監査の実施

- ・事業会社内で店長を監査チームリーダーとし内部監査を実施する
（2023-24年度の2年間で全店舗実施）

⑤環境教育の実施

- ・EA21に関連した環境教育を行い浸透を図る
- ・年間教育計画に基づき教育を実施



【8】環境目標の実績

達成率	判定
100%以上	○
90%以上100%未満	△
90%未満	×

【中四国スバルグループ】

項目		単位	2023年度				
			目標	実績	達成率	判定	
電気使用量		kWh	4,197,279	4,316,677	97.2%	△	
燃料	ガソリン	L	591,552	270,268	218.9%	○	
	灯油	L	3,538	2,925	121.0%	○	
	軽油	L	127,832	69,999	182.6%	○	
	LPG	kg	7,244	4,891	148.1%	○	
	都市ガス	m ³	2,061	3,017	68.3%	×	
二酸化炭素排出量		kg-CO ₂	3,656,102	2,816,364	129.8%	○	
水使用量		m ³	38,589	26,301	146.7%	○	
スバルTS1級、S級取得率※1		%	16.5	16.0	97.0%	△	
グリーン購入		品目数	160	159	99.4%	△	
点検パック付保率	新車時付保	%	84.6	88.2	104.3%	○	
	車検時付保	%	70.9	73.5	103.7%	○	
セーフティチェック台数		台	44,916	49,081	109.3%	○	
エコタイヤ販売比率		%	56.5	55.1	97.5%	△	
産業廃棄物	発生量	t	現在水準 の維持 (右は前 年実績)	1,479	1,372	発生量は前 年水準を下 回った	○
	資源化・熱回収量			1,214	1,129		
	最終処分量			265	243		
1億円あたり	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /億円	9,374	7,842	119.5%	○	
	水使用量	m ³ /億円	85	73	116.6%	○	
	産業廃棄物最終処分量	t/億円	-	0.68	-	-	
売上高		億円	-	359.15	-	-	

備考) ◆達成率の評価は総量及び原単位指標（売り上げ1億円当り環境負荷）で行います。

◆購入電力の二酸化炭素排出係数は、

- ・中国電力：0.536 広島、山陰、岡山、山口(CS山口、GP下関)
- ・中国電力：0.000 山口(CS山口、GP下関を除く) ※CO₂フリー電力導入
- ・四国電力：0.527 東四国、四国

※1. TS：テクニカルスタッフ

主要な環境目標と達成率 2023 年度（会社別）

達成率	判定
100%以上	○
90%以上100%未満	△
90%未満	×

※主要環境目標達成率

	広島スバル	山陰スバル	岡山スバル	山口スバル	東四国スバル	四国スバル	
二酸化炭素 (kg-CO ₂)	目標	867,489	587,937	595,933	305,866	609,454	689,424
	実績	689,497	445,553	475,903	146,010	490,358	569,042
	達成率	125.8%	132.0%	125.2%	209.5%	124.3%	121.2%
	判定	○	○	○	○	○	○
水道使用量 (m ³)	目標	7,673.2	3,892.5	8,143.1	6,424.7	6,356.3	6,099.4
	実績	6,057.0	3,081.0	4,937.0	3,640.0	4,346.0	4,240.0
	達成率	126.7%	126.3%	164.9%	176.5%	146.3%	143.9%
	判定	○	○	○	○	○	○

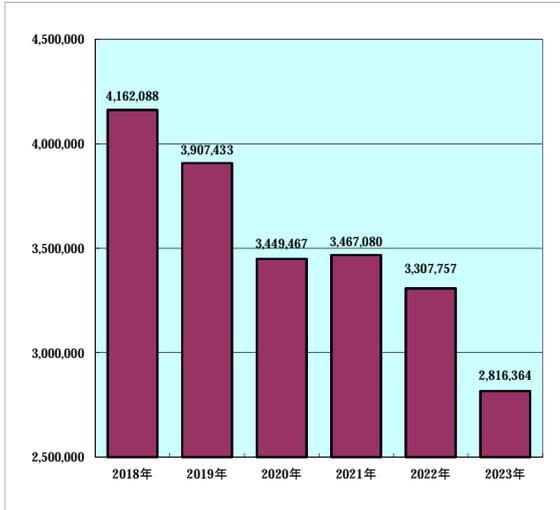
※数値目標達成率

電気使用量 (kWh)	目標	1,051,407	479,682	690,661	644,699	662,038	668,792
	実績	1,018,727	533,368	662,514	644,776	682,772	774,520
	達成率	103.2%	89.9%	104.2%	100.0%	97.0%	86.3%
	判定	○	×	○	△	△	×
ガソリン (L)	目標	109,548	127,176	72,692	82,754	95,946	103,436
	実績	52,704	55,514	32,520	28,328	51,010	50,191
	達成率	207.9%	229.1%	223.5%	292.1%	188.1%	206.1%
	判定	○	○	○	○	○	○
灯油 (L)	目標	2,543	723	0	0	272	0
	実績	1,469	1,014	422	0	20	0
	達成率	173.1%	71.4%	0.0%	-	1358.2%	-
	判定	○	×	×	-	○	-
軽油 (L)	目標	16,295	11,156	21,370	30,467	14,022	34,523
	実績	6,554	8,309	16,629	17,147	4,561	16,800
	達成率	248.6%	134.3%	128.5%	177.7%	307.5%	205.5%
	判定	○	○	○	○	○	○
LPG (kg)	目標	108	157	247	4,548	110	2,075
	実績	50	59	201	4,465	30	86
	達成率	215.0%	265.5%	123.0%	101.9%	362.0%	2420.7%
	判定	○	○	○	○	○	○
都市ガス (m ³)	目標	85	1,905	71	0		
	実績	42	2,975	0	0		
	達成率	201.4%	64.0%	-	-		
	判定	○	×	-	-		
点検パック 付保率 新車時付保 (%)	目標	84.6%	84.6%	84.6%	84.6%	84.6%	84.6%
	実績	88.2%	90.3%	84.2%	85.7%	91.3%	90.3%
	達成率	104.3%	106.7%	99.5%	101.3%	107.9%	106.7%
	判定	○	○	△	○	○	○
点検パック 付保率 車検時付保 (%)	目標	70.9%	70.9%	70.9%	70.9%	70.9%	70.9%
	実績	81.1%	63.4%	72.9%	73.1%	76.0%	70.3%
	達成率	114.4%	89.4%	102.8%	103.1%	107.2%	99.2%
	判定	○	×	○	○	○	△
セーフティ チェック (台)	目標	8,664	6,574	7,389	8,065	7,597	6,627
	実績	11,111	6,495	8,160	7,507	8,328	7,480
	達成率	128.2%	98.8%	110.4%	93.1%	109.6%	112.9%
	判定	○	△	○	△	○	○

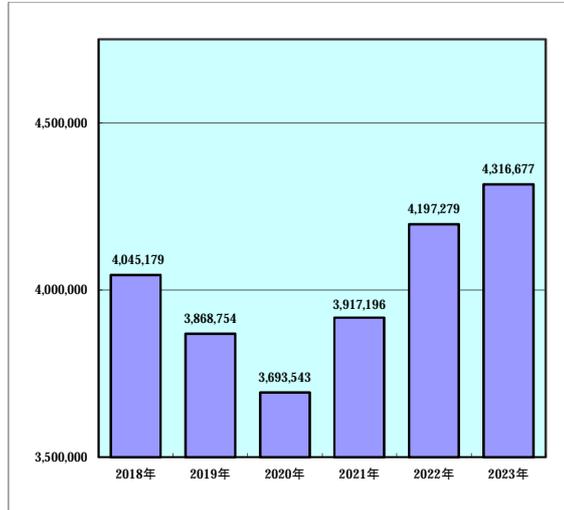
・購入電力の二酸化炭素排出係数につきましては、前ページ【8】環境目標の実績の下部、「備考）」をご参照下さい。

主要実績の推移

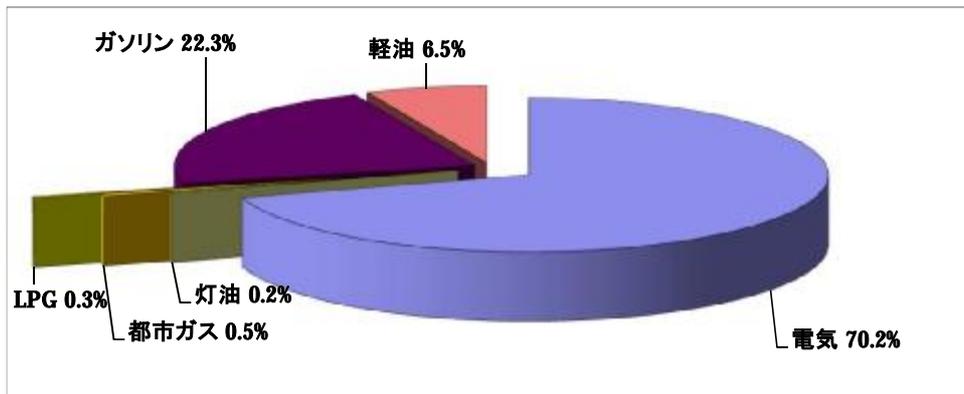
二酸化炭素排出量 (単位: kg-CO₂)



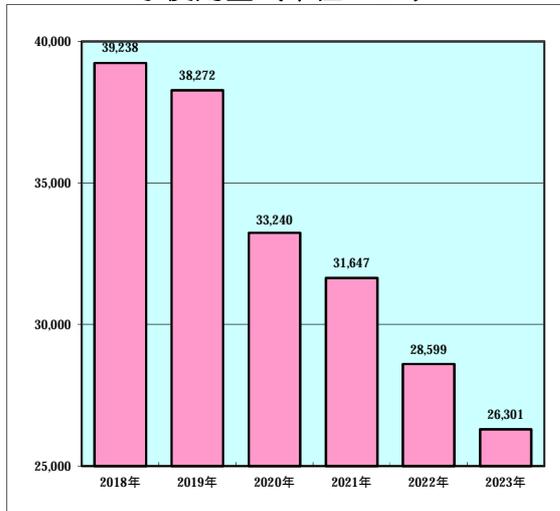
購入電力 (単位: kWh)



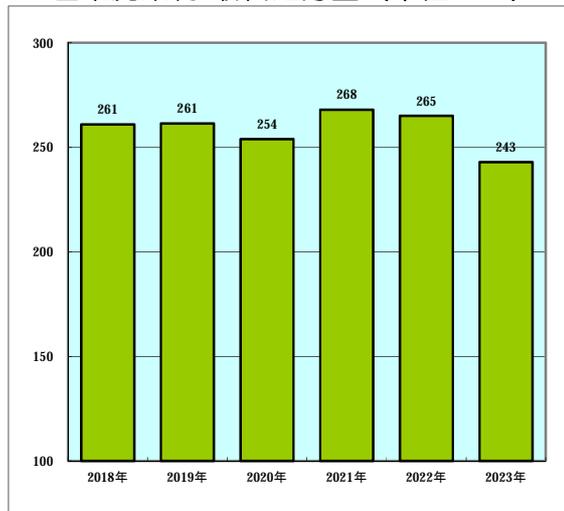
【参考】二酸化炭素排出割合 (2022年度実績)



水使用量 (単位: m³)



産業廃棄物 最終処分量 (単位: t)



【9】環境活動計画の取り組み結果、次年度の環境目標及び環境活動計画

(1) 2023年度取り組み結果

環境負荷低減に資する製品への取り組み

①セーフティチェック実施台数の増加

- ・セーフティチェックの目標台数44,916台に対して、実施台数49,081台の結果でした。(目標達成率109.3%)

②エコタイヤ販売比率向上

- ・エコタイヤの目標販売比率56.5%に対して、55.1%の結果でした。(目標達成率97.6%)

【参考】2021年度：54.2%、2022年度：56.8%

③点検パック付保率増加

- ・新車時の点検パック付保率は目標84.6%に対して、88.2%の結果でした。(目標達成率104.3%) 一昨年度の86.4%、昨年度の87.6%と実績を伸ばす事ができました。

- ・車検時の点検パック付保率は目標70.9%に対して、73.5%の好結果となりました。(目標達成率103.7%) 昨年度の70.8%から大きく実績を伸ばしています。店舗スタッフの日々の取り組みの結果です。

※点検パックにご加入のお客様は、車両メンテナンスの重要性をご理解されており、環境負荷低減にもご協力いただいています。引き続き、点検パック加入の促進を行い、確実にメンテナンスを実施することが大切です。

数値目標に対する取り組み

①CO2削減

電気使用量

- ・電力使用量目標の4,197,279kWhに対して、4,316,677kWhの結果でした。(目標達成率97.2%)

※工場エアコンの新規導入や、近年の酷暑により電気使用量は増加傾向にあります。目標達成はできませんでしたが、エアコンを使用しない期間では前年度の使用量を下回っており、節電に対する意識付けが定着している結果です。

燃料使用量

- ・ガソリン使用量目標の591,552Lに対して、270,268Lの結果でした。(目標達成率218.9%)

※ガソリン使用量は、来店型店舗への移行、WEB会議システムを積極的に活用したことで大幅に削減できました。

- ・ガソリン以外のその他の燃料については、灯油、軽油、LPGの目標が達成できています。都市ガスのみ目標達成できませんでした。

②水道水の使用量削減

- ・水使用量目標の38,589㎡に対して、26,301㎡の結果でした。(目標達成率146.7%)

※継続的に行っている、効率的な洗車の推進(お客様が希望されない洗車の確認、洗車時使用する洗剤の低減、節水ノズルの使用)により、一昨年度の31,647㎡、昨年度の28,599㎡と比較しても大幅に削減できています。

③廃棄物の削減

- ・産業廃棄物の管理・運用に関しては、違反・指摘事項の無い適切な対応を継続して行いました。また、今年度も「産業廃棄物適正能力検定取得講習」を7月に実施し、新たに28名が合格。「産業廃棄物適正処理管理士3級」の資格を取得しました。(昨年度の合格者133名) 更なるコンプライアンス遵守の強化を図っています。

- ・特定の産業廃棄物(廃油、廃バッテリー、廃タイヤ等)に関しては、スパルグループで一括管理され、規定に則り適切に運用しています。

④グリーン購入品目の増加

- ・グリーン購入の品目数目標160品目に対して159品目と、あと一品目足りない残念な結果(目標達成率は99.4%)となりました。次年度は対象品のリスト化し、グリーン購入の目標達成に対する意識付けを推進します。

数値目標以外への取り組み

①SDGsの取組促進

- ・「2030年交通死亡事故ゼロ」を目指すSUBARUの運転支援システム「EyeSight」搭載車両及び環境負荷対策車(電気自動車、ハイブリッド車等、エコカー減税対象車)の拡販に注力しました。

②本来業務の見直し、効率的営業活動

- ・ワークライフバランスの為に有給休暇は、全社員年間5日以上取得する事ができました。また、育児休業取得状況については、前年度と比較して取得者が大幅に増えています。

- ・スマートボードによる早期予約管理、Garoon導入による仕事の見える化は、業務の平準化・効率化に役立っており、職場環境を整えていく上でも大切なツールとなっています。計画的に確保できた時間はSTAGE学習等、スキルアップのために使える環境が必要で、今後は、業務改善および職場環境改善が、実績に繋がるよう取り組みを行っています。

③社会への環境活動の推進

- ・今年度も中四国スパルグループ全店舗で、地域清掃活動を行いました。
- ・日本ライフセービング協会へ、ライフセーバーカーを提供し支援を行いました。

※「2030年交通死亡事故ゼロ」を目指すSUBARUは、「水辺の事故ゼロ」を目指す日本ライフセービング協会の活動に賛同し、ビーチパトロールや地域の巡回の拠点となるライフセーバーカーの支援を行っています。

④内部監査の実施

- ・新型コロナは5月から5類感染症となり、以前ほどの影響がなかったため、多くの特約店で計画通りに実施できました。次年度は、新型コロナを含め、安全衛生には十分配慮した上で、計画通りに実施していきます。

⑤環境教育の実施

- ・環境教育(エコアクション21、SDGs)は、計画通り実施しました。
- ・新入社員の研修時に、エコアクション21、SDGsの教育を行いました。

各社各店舗の取り組みの様子

節電、節水をお客様にもご理解、ご協力いただくために



ブラインドで日差しを調節し節電



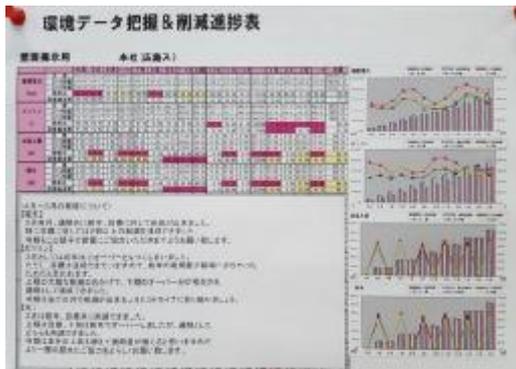
手順書に従った空調の温度設定



毎月の環境データを掲示



専用のケースで紙ごみの分別



油脂庫の表示

整理された油脂庫内



日本ライフセービング協会支援
(ライフセーバーカー引き渡し式)



日本ライフセービング協会支援
(ライフセーバーカー引き渡し式)

地域清掃活動



地域清掃活動



グループ全体での新入社員教育



(2) 次年度の環境目標及び環境活動計画

次年度の環境目標は次表の通りで、環境活動計画は以下の通りです。

環境目標 2023~2027年度（基準年度 電気：2022年度実績、燃料・水：2019年度実績）

項目	単位	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度		
環境目標（削減率）		電気：2022年度実績 燃料：2019年度比0.5% 水：2019年度比0.5%	電気：2022年度比0.5% 燃料：2019年度比1.0% 水：2019年度比1.0%	電気：2022年度比1.0% 燃料：2019年度比1.5% 水：2019年度比1.5%	電気：2022年度比1.5% 燃料：2019年度比2.0% 水：2019年度比2.0%	電気：2022年度比2.0% 燃料：2019年度比2.5% 水：2019年度比2.5%		
電気使用量	kWh	4,197,279	4,176,293	4,155,306	4,134,320	4,113,333	※1	
燃料	ガソリン	L	591,552	588,579	585,606	582,634	579,661	※2
	灯油	L	3,538	3,520	3,503	3,485	3,467	
	軽油	L	127,832	127,190	126,548	125,905	125,263	
	LPG	kg	7,244	7,207	7,171	7,134	7,098	
	都市ガス	m ³	2,061	2,050	2,040	2,030	2,019	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	3,656,101	3,621,912	3,603,667	3,585,423	3,567,178	※3	
水使用量	m ³	38,589	38,395	38,201	38,007	37,813	※4	
グリーン購入	品目数	160	164	170	174	180		
点検パック 付保率	新車時付保	%	84.6	85.1	85.6	86.1	86.6	
	車検時付保	%	70.9	71.4	71.9	72.4	72.9	
セーフティチェック	台	44,916	45,140	45,365	45,591	45,820		
産業廃棄物		現在の水準を 極力維持する	現在の水準を 極力維持する	現在の水準を 極力維持する	現在の水準を 極力維持する	現在の水準を 極力維持する		
1億円あたり	二酸化炭素排出量	kg-CO2/億円	11,036	10,980	10,925	10,870	10,815	※5
	水使用量	m ³ /億円	98.8	98.3	97.8	97.3	96.8	

※1 【基準年度_2022年】・2022年度から引き続き、2023年度以降も工場エアコンの導入促進。対前年度目標の2022年度の基準に設定。

※2 【基準年度_2019年】コロナ自粛の影響がない、直近の2019年度の基準に設定。都市ガス：山口スバルでの使用は2019年5月までの為、基準から削除。

※3 購買電力の排出係数は、2021年度で算出。長中期(2023年度~2027年度)の排出係数は「中国電力：0.536」「四国電力：0.528」を使用。
中国電力：再エネ特約プレミアムの排出係数も導入。

※4 水資源：広島スバル・東広島店のみ2022年度基準に設定。洗車時に使用していた井戸水を水道水に変更した為、基準変更。

※5 売上高基準年度は「二酸化炭素排出量：2022年度」「水使用量：2019年度」で算出。

①環境負荷低減に資する製品への取り組み

- ・環境対策車の拡販(エコカー減税対象車、ハイブリッド車、EV車)に向けた商談力の向上。(研修、トレーニングの実施)
- ・セーフティチェック実施台数増加に向けた新車時・車検時の点検パック加入促進。
- ・エコタイヤ拡販のための最新商品の知識習得、車両入庫時のタイヤチェック実施と積極的な交換の提案。

②CO2削減

※「D-SPECS(WEBによる環境実績管理)」の継続

電気使用量削減、燃料使用量削減

- ・節電意識の強化として引き続き各スイッチ部に節電POPの貼り付けを実施。
また、エネルギー使用量の実績を会社別・店舗別で毎月公表し、目標達成への進捗を見える化。
- ・空調機は設定温度だけではなく、室温(体感温度)の管理も重視し、夏場の熱中症に注意する。
事務所のブラインド、工場カーテンを最大限活用し、室内の温度変化を抑えエアコン稼働を最小化し節電。
- ・店舗建替、改築時に省エネ設備(LED照明等)を積極的に導入する。
- ・中四国スバルグループ全店で来店型店舗となった為、引取、納車を廃止。
代車削減(必要最小限の台数)と効率的使用、代車満タン返し依頼も継続して実施。
- ・WEB会議システムを活用し移動の最小化。

③水使用量削減

※「D-SPECS(WEBによる環境実績管理)」の継続

- ・電気・燃料使用量と同様に会社別・店舗別で毎月の実績値を公表し意識付けの強化を継続する。
- ・設備更新時には節水・静音タイプの洗車機へ切替を行っていく。

④廃棄物排出量の削減と再資源化、産業廃棄物の適正管理

- ・iPad等のデジタルツールや、WEB会議システム、電子マニフェストの導入によりペーパーレス化を促進する。
- ・手順書に基づいた適正な保管・管理を実施し、法令に則り適正な処分を行う。
- ・産業廃棄物処理業者のグループ内統一をさらに進め、適正処分・再資源化を進める。
- ・中四国スバルグループ全店で電子マニフェストの完全運用。

⑤グリーン購入品目の増加

- ・対象商品の情報展開。積極購入の推進。

⑥SDGsの取組促進

- 2030年交通死亡事故ゼロに向けてEyeSight搭載車の拡販。(出張展示、体感試乗の実施)
- 中四国スバルグループで社会貢献活動の強化 グループ全体での地域清掃活動の取り組み 各店舗で地域清掃活動の計画、実施 社会への環境活動の推進。
- ライフセーバーカーの貸出による支援活動の取り組み。

⑦本来業務の見直し、効率的営業活動

- ワークライフバランスのための有給取得促進(年間5日以上)、男性育休取得の促進。社員の健康を支える取り組みのレベルアップ。
- リスクマネジメント・コンプライアンス活動の推進。(取組、教育の強化)
- WEB会議システムを最大限活用し、更なる効率の改善を図る。
- セールスはSTARS級、サービスではTS級の資格取得を推進。STAGEの定着。
- 来店型店舗により時間通りの作業完了が必要となるため、スマートボードによる工程管理の質の向上。(ムリ、ムダ、ムラを削減。作業時間の適正化。早期予約管理による入庫の平準化) 朝・昼・終礼で作業の進捗状況確認を徹底する。
- グループウェア「Garoon」を活用し、更なる効率化、見える化、コミュニケーションの向上を図る。
- 点検パック販売を強化しセーフティチェック実施台数増加を目指す。
- マイスバルやiPad等のデジタルツールを活用し、お客様とより密接な関係を築き在庫量増加、環境負荷低減商品の販売促進を積極的に推進。

⑧内部監査の実施

- 2023-24年度の2年間で中四国スバルグループ全店舗の内部監査を実施する。

⑨環境教育の実施

- 引き続き環境教育を年間計画に基づき行っていく。
- 新任店長、新入社員への継続的な環境教育を行う。(WEB会議システムを有効的に活用)

【10】環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 違反・訴訟等の有無等

(1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規	遵法状況の確認	要求事項
水質汚濁防止法	○	特定施設の届出（自動車洗浄装置の設置等）
下水道法	○	排水施設の設置義務（特定施設の設置届出）
浄化槽法	○	保守点検、清掃及び定期検査
騒音規制法	○	特定施設の設置の届出
振動規制法	○	特定施設の設置の届出
消防法	○	少量危険物貯蔵届出、危険物屋内貯蔵所
廃棄物処理法	○	廃棄物の適正処理、廃棄物処理業者との委託契約等
自動車リサイクル法	○	使用済み自動車の適正処理
化管法（PRTR法）	○	特定化学物質の排出量・移動量の把握と記録、基準以上の取扱量の行政への報告
労働安全衛生法	○	労働安全衛生法対応
フロン排出抑制法	○	第一種特定製品の簡易点検実施と記録、定期点検実施と記録

(2) 違反・訴訟等

当社における環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局からの違反等の指摘や訴訟は過去5年間ありません。

(3) 内部監査

新型コロナは5月から5類感染症となり、以前ほどの影響がなかったため、多くの特約店で計画通りに実施できました。次年度は、新型コロナを含め、安全衛生には十分配慮した上で、計画通りに実施していきます。



【11】代表者による全体評価と見直し

2023年度は、EA21を環境経営の中心に据え取り組みを進めてきた。各種目標指標については、CO2目標値▲23.0%、達成率129.8%、ガソリン、水使用量についても目標達成できた。

工場エアコン導入が進み、かつ盛夏以外でも暑い日が続いたなか、使用方法の工夫により使用量を抑えられたことは、全スタッフの環境意識の高まりの結果だと評価したい。

今年度については、中東情勢の不安定化に加え、160円に迫る円安が続き、エネルギー価格や資材価格の高騰が我々のビジネスに大きく影響することが想定されること、また、政府補助金減による電気代、ガソリンの高騰が見えている中でさらなる工夫が求められる。商品としては、次世代の電動商品のトップとなるSHEV車が秋に投入される。この低燃費車の拡販が、トータルのガソリン使用量減につながっていくことを全社員が理解し、推進していくことが益々重要となる。ピーチクリーン活動や地域清掃など、お客様とともに、環境に良い取り組みを進めていく24年度としたい。

中四国スバルグループ 統括責任者 石川 篤

【12】中四国スバルグループ店舗一覧表

2024年 4月 1日現在

会社	店舗名	住 所	電話番号	FAX番号	工場資格	組織区分	
広島スバル	本社	広島市西区中広町1-3-17	082-291-4355	082-291-6555	-	A	
	福山店	福山市明神町2-18-17	084-941-2155	084-943-2619	指定	B	
	尾道店	尾道市高須町1263-2	0848-46-2340	0848-47-1099	指定	B	
	三原店	三原市皆実4-3-25	0848-62-6218	0848-64-2173	指定	B	
	東広島店/CS東広島	東広島市西条町寺家3981-1	082-422-2131	082-422-2249	指定	B	
	中広店/部品センター	広島市西区小河内町2-8-1	082-232-5171	082-232-5174	指定	B	
	東雲店	広島市南区東雲本町3-5-24	082-284-2265	082-284-2254	指定	B	
	緑井店	広島市安佐南区緑井6-20-10	082-877-1385	082-877-1387	指定	B	
	五日市店	広島市佐伯区五日市中央6-2-48	082-923-5800	082-923-5941	指定	B	
廿日市店	廿日市市宮内2-1-20	0829-39-6670	0829-39-4571	認証	B		
山陰スバル	鳥取県	本社/米子店	米子市熊党330-3	0859-27-9030	0859-39-3013	指定	B
		鳥取店	鳥取市千代水1-165	0857-22-8366	0857-23-5172	指定	B
		CS米子	米子市熊党53-1	0859-27-9020	0859-39-3012	-	C
	島根県	松江店	松江市東津田町1851-1	0852-23-2345	0852-23-2348	指定	B
		出雲店	出雲市渡橋町420	0853-21-2674	0853-21-2678	指定	B
		浜田店	浜田市相生町3781	0855-22-1500	0855-23-5220	指定	B
岡山スバル自動車	本社/岡山久米店/CS久米店	岡山市北区久米333-1	086-241-0811	086-244-0368	指定	B	
	岡山原尾島店	岡山市中区原尾島1-4-22	086-273-1398	086-273-9409	指定	B	
	岡山藤田店	岡山市南区藤田2090-1	086-296-5554	086-296-5584	指定	B	
	倉敷中島店	倉敷市中島1398-2	086-465-6331	086-465-6396	指定	B	
	倉敷大島店	倉敷市大島531-3	086-427-1682	086-427-1685	指定	B	
	津山店	津山市河辺1158-8	0868-26-2155	0868-26-2199	指定	B	
山口スバル	本社/山口店/CS山口	山口市朝田1049-1	083-922-2022	083-922-3115	指定	B	
	新下関店	下関市秋根東町3-31	083-256-5533	083-256-5543	指定	B	
	宇部店	宇部市中央町2丁目1-1	0836-31-5551	0836-31-5549	指定	B	
	防府店	防府市西仁井令1-3-26	0835-22-1762	0835-22-7642	指定	B	
	周南店	周南市南浦山町4-8	0834-32-1417	0834-32-0722	指定	B	
	岩国店	岩国市尾津町2-11-17	0827-31-8121	0827-31-8123	指定	B	
東四国スバル	香川県	本社/高松木太店	高松市木太町2683	087-861-3600	087-861-6018	指定	B
		高松空港通り店	高松市鹿角町421-5	087-865-5002	087-865-5488	指定	B
		宇多津浜街道店	綾歌郡宇多津町浜二番丁20-16	0877-59-9080	0877-59-9070	指定	B
		丸亀原田店	丸亀市原田町1673-1	0877-23-0245	0877-23-0249	指定	B
		CS丸亀原田店	丸亀市原田町1666-2	0877-25-1727	0877-23-6964	-	C
	徳島県	論田店	徳島市論田町大江26	088-662-1010	088-662-0731	指定	B
		徳島北店	徳島市心神町西貞方字仁徳52-1	088-641-1800	088-641-1810	指定	B
		川内店	徳島市川内町大松248	088-665-8200	088-665-8202	指定	B
CS徳島	徳島市大松町榎原外77-27	088-669-2212	088-669-3194	-	C		
四国スバル	愛媛県	本社/高岡店	松山市高岡町463-1	089-972-0191	089-965-1905	指定	B
		松山インター店	松山市井門町455-1	089-969-1151	089-969-1152	指定	B
		今治店	今治市郷桜井3-9-16	0898-48-7778	0898-48-7277	指定	B
		新居浜店	新居浜市東田3丁目乙8-6	0897-43-5725	0897-43-5727	指定	B
		宇和島店	宇和島市中沢町1-5-7	0895-22-2219	0895-25-8072	指定	B
		CS松山インター	松山市井門町455-2	089-905-7050	089-905-3176	-	C
	高知県	高知栈橋通店	高知市栈橋通4-15-7	088-832-1111	088-832-4950	指定	B
		高知東店/CS高知東	高知市介良乙1060-10	088-878-7185	088-878-7186	指定	B

※CSはカーズボットの略

※工場資格 指定：指定整備工場、認証：認証整備工場

※組織区分

A = オフィス業務（事務所業務）

B = オフィス業務 + 自動車販売（新車・中古車）+ 整備業務

C = オフィス業務 + 自動車販売（中古車）

D = オフィス業務 + 自動車販売（中古車） + 整備業務